

株式会社 生出 様の事例

BCMS の登録範囲

樹脂及び紙発泡体を主体とした緩衝材の設計・開発、製造及び販売

BCMS を構築したきっかけと目的

当社の主力お得意先の手製薬会社から、被災した場合であっても安定した製品の供給を継続できる体制を構築してほしいという要望を受けた。お客様の製品は透析患者用の医薬品で、一時たりとも欠品を起こすことができないもので、製品の供給ができなくなると、お客様に多大なご迷惑と損害を与えるだけでなく、何よりも患者の生命にも影響を及ぼす重大な問題になること、また当社が長期間事業を中断した場合、最悪、取引の停止に繋がる可能性があるため、これを何としても回避しなければならず、そこで、被災し、被害を受けても短期間で事業を再開できるような対策を早急に取りおくことが必要であった。

BCMS に取り組んで改善されたこと(事業継続戦略の実行状況、認証取得のメリットなど)

1. 事業継続への確信

マニュアルや手順書の実効性の検証を訓練のたびに繰り返し見直して修正をおこなった結果、初動対応から復旧に至るまでの具体的な流れや各段階においてのやるべきことがかなり明確になった。また同業者間の相互補完協力関係が構築できたことや仕入先との連携などによって事業継続への確信を持てるようになった。

2. リスク回避に向けた柔軟な対応力強化

訓練、演習の継続によって、従業員のリスクに対する姿勢や心構えといざというときの対応力の強化が図られた。

3. 企業体質の強化

リスク分析や社内検討を繰り返す中で、事業運営上のボトルネックが浮き彫りになり、BCP の範疇を超えた活動となるが、改善を図ったり、また改善を図る準備を進めるなどの良い契機となった。自発的に従業員が業務フローを見直すための真剣な議論に触れるにつれ、仕組みやルールの整備のみではなく、一人ひとりの従業員のコンピテンシー向上に繋がり、企業体質の強化に資する契機となった。

4. 幹部や現場責任者の育成に効果的

自社のおかれた環境の理解、想定されるリスクの特定、リスク回避や対処方法などを順を追って検討していく過程で、問題解決や課題解決に向けたものの見方、考え方が教科書的な理解ではなく、実践的な形で学習できた。

5. 対外的な信用度の向上

お客様に対して自信を持って事業の継続性をアピールすることができる。実際に多くのお客様から高い評価を頂いており、既存の取引の更なる関係強化や新規受注に向けた訴求力向上に大変役立っている。

<p>BCMS 構築・運用を通して気付いたこと(目標復旧時間達成状況[実践や演習などを通じた]についても)</p>
<p>1. BCMS 構築・運用の本来の目的は事業継続能力の向上だが、それ以外の効果やたくさんのメリットがある。社内では危険箇所の安全対策、演習、災害備蓄品の準備等を通じて従業員の安全を会社が最優先に考えていることを表現でき、安心して働ける職場環境から社員意識の向上に繋がり、生産効率が上がってきている。サプライヤーにおいてはBCPのアンケートや訪問で実情が把握でき、弊社が共にBCPを推進することで協力関係が強化でき、通常の業務に大きく貢献している。</p>
<p>2. 演習は目的、設定時間を明確にして実施しないと PDCA が適確に回らないことがわかり、その後の演習では事前の準備を確実に行って継続的改善に繋げている。</p>
<p>BCMS を構築した時に苦労したところ</p>
<p>いざという時に役立つものにするため社員の意識を高く持ち、取り組まねばならない。経営者が率先して社員を巻き込んで実情に即したBCPを構築することが必要。これに加え、定期的な教育訓練により実践感覚を磨いていく必要がある。相応の労力は掛かったが企業経営の一環としてBCPを位置付けて、全社的に真剣に取り組んだ。</p>
<p>東日本大震災やタイ洪水など、実際の脅威が発生した際にBCMSを構築・運用していたおかげで助かった点や課題</p>
<p>東日本大震災によって福島県の仕入れ先が被災し、機能しなくなった時期があったがBCPを進めていたおかげで、代替先をいち早く確保できた。</p>
<p>組織(経営)戦略実現のための、事業継続の位置付け</p>
<p>BCMS は企業経営そのもの、企業経営戦略の一環として位置づけることが役立つBCPとなるポイント。</p>
<p>BCMS を取得してよかったところ、他者にBCMSをお勧めするとすればどういうところが良い点か</p>
<p>BS25999-2 認証規格を取得することによって、目に見えるかたちで当社の取組についてお客様をはじめとする利害関係者にお伝えすることができるようになったこと。 審査時の指摘を受けて、より有効な BCMS の構築・運用に向けた改善に結び付けられたこと。</p>
<p>BCMS 規格に対する問題点・改善提案</p>
<p>事業継続戦略において重要な活動の目標復旧時間(RTO)を設定するがステークホルダーのニーズ(直接要求をきいて)によりRTOの設定が必要と思います。</p>